

「週休2日取得モデル工事(営繕工事)」(令和3年5月試行)実施要領等についてのQ&A

令和3年5月

	Q	A
1	祝日に休工した場合、現場閉所(休息)日となりますか？	土・日・祝日を問わず、巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場が閉所した日を現場閉所日とします。 なお、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い日を現場休息日とします。
2	午前もしくは午後のみ休工とした場合は半日の閉所(休息)日となりますか？ また、連続した半日単位で現場閉所(休息)を計画した場合、合わせて1日閉所(休息)日となりますか？	原則、1日単位で実施の可否を確認するものであるため、半日単位の現場閉所(現場休息)は扱いません。 連続した半日単位の現場閉所(現場休息)については、一般的に両日とも出勤日として扱うと考えるため現場閉所(現場休息)日として扱いません。
3	工事着手時に監督員へ現場閉所(休息)予定日を記載した計画工程表を提出しているが、雨天等で急に休工したい場合(施工予定日を休日に変更)、事前に共有している休日を施工日に変更してよいですか？	降雨、降雪等による予定外の現場閉所(現場休息)についても、現場閉所(現場休息)日数に含めるものとしています。 現場閉所(現場休息)日の変更については、受発注者間で工程共有することで、その都度変更が可能となります。
4	前日に施工可能と判断し、朝8時に作業員等が現場に集合したが天気予報が外れ、現場での施工を断念し、現場管理人を始め、作業員等を解散した場合は、現場閉所(休息)として扱われますか？	降雨、降雪等による予定外の現場閉所(現場休息)についても、現場閉所(現場休息)日数に含めるものとしています。
5	平日、悪天候で現場閉所(休息)し、監理技術者等が現場事務所ではなく、本場で書類を作成した場合は、現場閉所(休息)として扱われますか？	現場閉所(現場休息)とは、巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場が閉所された(現場作業がない)状態を言います。 現場閉所(現場休息)日に本場で書類を作成した場合は、現行制度では現場閉所(現場休息)として扱うことは可能です。
6	年末年始及びお盆休暇や5月の大型連休の前後に集中して現場閉所(休息)を実施した場合は、現場閉所(休息)日数として扱われますか？ 仮に年末年始8日間と夏季休暇5日間とした場合、どちらも2日間は現場閉所(休息)日として扱われますか？	対象期間には、年末年始6日間と夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間等は含まないことになっています。 今回のようにこの前後に現場閉所(現場休息)した場合は、対象期間に該当するため現場閉所(現場休息)日として扱います。 また、年末年始6日間と夏季休暇3日間は原則、12/29～1/3、8/13～15とし、工程上この期間に現場閉所(現場休息)が難しい場合は、別の日を代休として下さい。なお、この代休は現場閉所(現場休息)日として扱うことはできません。
7	工事完成日とは？	工事完成日とは、工事施工範囲内ですべての作業(後片付けを含む)が完了した日を指し、受発注者間で確認することとしています。 例えば、現場管理が不要となる日や仮設事務所引上げの日などが考えられます。 なお、工事着手日の前や工事完了日の後に行う現場事務所(工事施工範囲外)や会社での書類作成・整理は、現地作業が伴わないため、週休2日の対象期間外となります。
8	現場閉所(休息)計画は、基本的には4週8休と思われるが、達成が困難と思われる場合は、当初の現場閉所(休息)計画時点から4週6休、7休の計画としてもよいですか？	当初の現場閉所(現場休息)計画は、4週8休以上を基本とするが、4週7休以上、4週6休以上の計画とすることも可能です。 ただし、令和3年5月試行より、「4週8休以上」を前提に労務費を補正して予定価格を作成しているため、現場閉所(現場休息)の達成状況によっては、減額変更となります。
9	施工機械の点検やその修理等を行った日は現場閉所(休息)となりますか？	施工機械の点検やその修理のみを行った場合は、保守点検の一環として現場閉所(現場休息)となります。
10	見積単価は補正係数による補正の対象となりますか？	週休2日取得モデル工事において、見積単価は補正係数を用いた補正の対象外としています。
11	社内就業規則等が週休2日となっていない場合はどうすればよいですか？	社内就業規則に関わらず、各工事現場について、週休2日相当の現場閉所(現場休息)率の達成状況により判断します。

12	当日の現場作業が除雪のみの場合は対象期間に含めるのですか	当日の現場作業が除雪のみの場合は、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間として対象期間から除くことができます。
13	工程上、週休2日や連続する休日が難しい場合はどうすればよいですか？	週休2日取得モデル工事の達成状況は、工事着手日から工事完了日までの期間における現場閉所(現場休息)率で判断します。 例えば、土日続けて現場閉所(現場休息)できなかった場合は、平日に代休を取るなど、週休2日相当の現場閉所(現場休息)率を達成してください。 また、週により現場閉所(現場休息)日数が変動してもかまいません。 対象期間中、毎月同じ現場閉所(現場休息)率である必要もありません。 工事着手日(工事施工範囲内で何らかの作業に着手した日)から、工事完成日(工事施工範囲内ですべての作業が完了した日)までの対象期間で現場閉所(現場休息)日数を整理することになります。
14	一つの工事現場で複数の工事が発注される場合、「週休2日取得モデル工事」の対象となるのは、10,000千円以上の工事のみですか？	「週休2日取得モデル工事」の対象工事は、当初設計額が10,000千円以上の営繕工事となりますが、一つの工事現場に関連する複数の工事が発注される場合(分離発注工事の場合)については、10,000千円以上の工事が一つであれば、その関連する全ての工事が対象となります。 なお、分離発注工事の場合には、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態を「現場休息」とし、現場閉所と同等に扱います。
15	一つの工事現場で複数の工事が発注された場合において、閉所日はすべて同一日としなければならないのですか？	分離発注工事など、一つの工事現場で複数の工事が発注された場合は、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い日を「現場休息日」とするため、閉所日又は休息日が同一日になるように受注者間で調整する必要はありません。 また、現場閉所率又は現場休息率についても各発注工事単位で別々に算出することになります。
16	一つの工事現場で複数工事が分離発注された場合などで、各工事の契約日が異なる場合、対象期間はどのように算定されるのですか？	現場閉所(現場休息)率を算出するための対象期間は、契約日から履行日ではなく、現場着手日から工事完成日までとなり、対象期間は各工事(契約)単位で算定します。 《参考イメージ》  <p style="text-align: center;">現場閉所(現場休息)日数(b日) = c + d</p> <p style="text-align: center;">※年末年始・夏季休暇等を挟む場合は、対象期間より除くこと。</p>
17	市場単価及び物価資料の掲載価格等は補正の対象となりますか？	市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)については、補正の対象となります。詳細は、「営繕工事における週休2日促進工事の実施に係る積算方法等の運用について」(令和2年6月23日付け国営積第4号)を参照して下さい。
18	協力業者(下請企業)の現場閉所(休息)日の達成状況はどこまで確認するのですか？	元請、下請に関係なく、あくまで各発注工事単位で判断してください。